



# 雪崩・地すべり 研究センターたより

第86号  
2021年8月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center, Erosion and Sediment Control Research Group

## 主な記事

- ・今年の融雪地すべり・雪崩の発生状況
- ・雪崩の3次元計測
- ・各種講演・発表を行いました
- ・ニュートンのリンゴの木



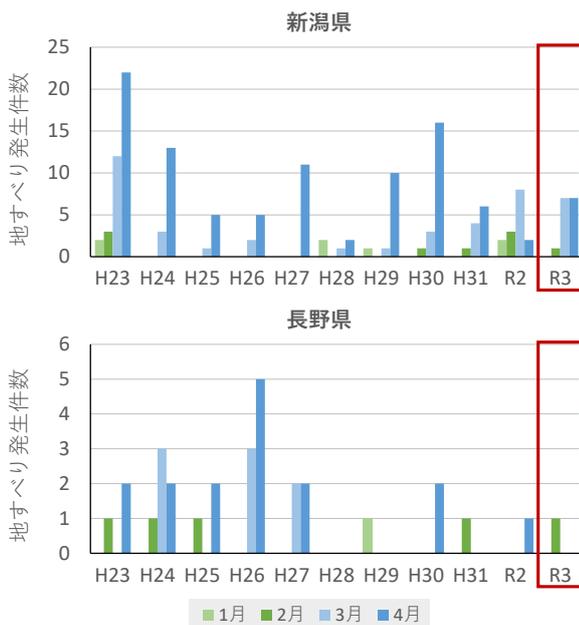
左から飯綱・黒姫・妙高・火打の山々 (8月19日、左上同)

## 今年の融雪地すべり・雪崩の発生状況

### 融雪地すべり (新潟・長野)

昨年12月～今年1月にかけては日本海側を中心に記録的な大雪となった一方、1月下旬以降は一転して平年より気温が高くなり、平野部では雪解けが急速に進みました。

今年1～4月に新潟県・長野県で発生した地すべり



▲新潟県・長野県の融雪地すべり発生件数  
(新潟県・長野県砂防課調べ)

の件数はそれぞれ15件・1件と、過去10年間の平均14.2件・2.9件と比べて同程度か少ない件数となりました。

月別の発生件数を見ると、新潟県では記録的な暖冬だった昨年を除き、例年4月の発生が最も多くなりますが、今年は3月と4月がそれぞれ7件で同数となりました。これは春先の急速な雪解けが影響している可能性も考えられます。



▲新潟県糸魚川市来海沢地すべり (3月4日)

### 雪崩

各地で記録的な大雪となった2020/21年冬期は、日本海側を中心に雪崩災害が多数発生し、人的被害も相次ぎました。登山・スキー中の雪崩事故が大半だ

ったここ 2 シーズンとは異なり、集落や道路沿いで雪崩も多く発生したことが特徴的です。中には、標高差約 1,000m を流れ下る大規模な雪崩も発生しています (1 月 10 日岐阜県白川村)。

▼2020/21 年冬期の雪崩災害  
(都道府県報告や報道情報による)

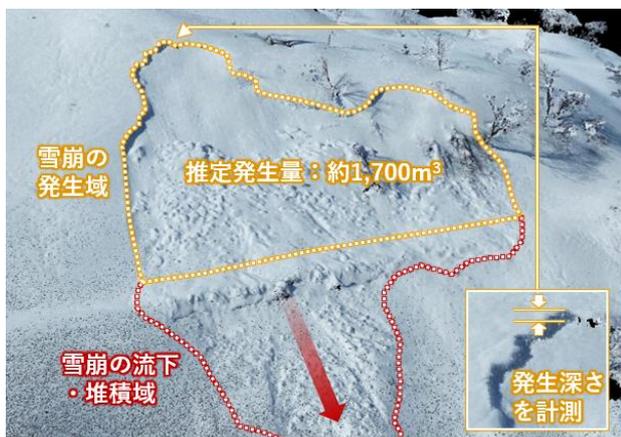
発生日	発生場所	被災箇所	被災状況
12月17日	山形県大蔵村	肘折地区	家屋一部損壊1戸
1月2日	秋田県横手市	増田町狼半内地区	運転手1名死亡
1月10日	岐阜県白川村	馬狩地区	通信施設被災
1月14日	秋田県横手市	陸成 愛宕地区	人的・物的被害なし
1月26日	山形県大蔵村	県道戸沢肘折線	県道通行止め
1月26日	北海道赤井川村	常盤地区	スキーヤー1名死亡
2月12日	新潟県十日町市	新座甲地区	小屋損壊1件
2月13日	秋田県横手市	山内地区	国道通行止め
2月14日	秋田県由利本荘市	鳥海町砥沢地区	市道通行止め
2月21日	青森県青森市	八甲田山系	スノーボーダー1名死亡
2月28日	北海道上川町	上川岳	登山者2名被災 (死者なし)
2月28日	北海道赤井川村	余市岳	スノーボーダー1名死亡
3月2日	北海道芦別市ほか	国道・道道沿線	運転手1名負傷、道路通行止め
3月14日	長野県駒ヶ根市	千畳敷カール	登山者1名負傷
3月14日	長野県松本市	乗鞍岳	登山者1名死亡、2名負傷
3月21日	静岡県富士宮市	富士山	人的・物的被害なし
4月30日	長野県松本市ほか	北ア濁沢ほか	人的・物的被害なし
5月6日	長野県松本市	北ア横尾本谷	人的・物的被害なし

雪崩の 3 次元計測

当センターでは現在、ドローンによる雪崩の 3 次元計測についての研究に取り組んでおり、今年 1~3 月に妙高市、上越市、糸魚川市の各 1 か所において雪崩の計測を行いました。

下の図は糸魚川市の事例で、ドローンで撮影した連続写真から作成した雪崩の 3 次元モデルです。この事例では、3 次元モデルから雪崩の発生深さを計測し、雪崩発生量を推定することができました。

このようなドローンの活用により、雪崩災害発生後の迅速な全容把握と効果的な対策検討が可能となります。当センターでは、今後も事例検証を進め、ドローンによる雪崩調査手法を取りまとめる予定です。



▲雪崩 3 次元モデル (糸魚川市西飛山、2 月計測)

各種講演・発表を行いました

■5/19-21 砂防学会研究発表会 (WEB)

砂防学会の研究発表会が今年オンライン大会として開催され、奥山主任研究員が 2020/21 年冬期のセンター構内における積雪・融雪観測の結果についてポスター発表を行いました。

■6/8 全国地すべりがけ崩れ対策協議会 専門部会・全員協議会 (WEB)

全国都道府県で構成され、地すべり・がけ崩れ・雪崩に関する調査研究を行う協議会の全員協議会が開催され、雪崩部会において奥山主任研究員が 2020/21 年冬期の雪についての話題提供を行いました。

■8/3 富山県治水砂防協会 通常総会・砂防講演会 (富山市)

富山県内の市町村等で組織され、治水砂防事業の促進を図ることを目的に活動する協会の総会および講演会が開催され、判田上席研究員が話題提供を行いました。

ニュートンのリンゴの木

ニュートンのリンゴの木について、今年 1 月の大雪で枝折れが発生したこと、また枝が伸びすぎたことから、6 月、約 5 年ぶりに枝の剪定を行いました。その影響か約 5 個と数は少ないですが、直径 5~6cm 程度と昨年よりも大きめの実がなっています。これから赤く色づく姿が見られることを期待しています (写真は 8 月 19 日撮影)。



バックナンバーはこちらから▼

[https://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/publication/nadare\\_tayori.html](https://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/publication/nadare_tayori.html)



発行: 国立研究開発法人 土木研究所 つくば中央研究所  
土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター  
住所: 〒944-0051 新潟県妙高市錦町 2-6-8  
TEL: 0255-72-4131 FAX: 0255-72-9629  
<https://www.pwri.go.jp/team/niiigata/top.html>



掲載内容は現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により、内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承ください。